

# 充電機能搭載 車載用 FM トランスミッター LAT-FMi01

## 取扱説明書

このたびは充電機能搭載 車載用 FM トランスミッター「LAT-FMi01」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全に使用するために、本書は必ずお読みくださるようお願い申し上げます。

また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管してください。

### 製品の特長

本製品は、iPod と接続して、自動車内で手軽に iPod の音楽を楽しめる充電機能搭載 車載用 FM トランスミッターです。再生と同時に、iPod を充電できるので、長時間のドライブなどでも、バッテリーの残量を気にすることなく音楽を楽しむことができます。電源はシガーソケット（12V 専用）から供給し、データは FM 波を利用してワイヤレスでカーオーディオに転送するので、面倒な車内配線は不要です。

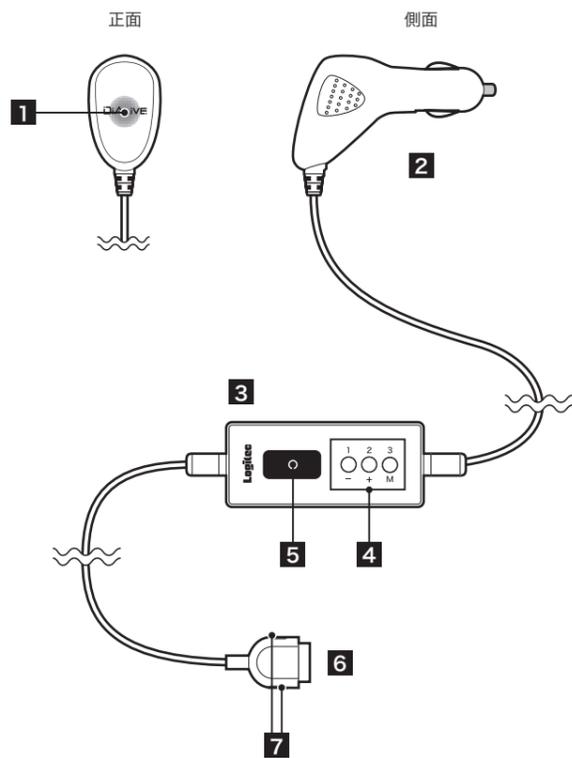
- ・操作部とシガーソケット部はケーブルで接続されているので、操作部を使いやすい位置に置いて使用することができます。
  - ・FM トランスミッターの送信周波数は76.0MHz～90.0MHzの間で0.1MHz単位で設定できるため、受信状態のよい周波数を選択することができます。
  - ・設定した送信周波数は3つまで操作部のボタンに登録することができます。
  - ・エンジン連動の自動再生・停止機能により、お車のエンジンをかけると自動的に再生が開始されます。また、エンジンを切ると再生を停止し、一定時間が経つと iPod がスリープモードになります。（この機能は iPod mini や第4世代以降の iPod でご利用になれます）
  - ・本製品はDockコネクタを備えた iPod 専用です。
- ※本製品は、Apple 社の「Made for iPod」認定商品です。

### パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- ・FM トランスミッター本体 1台
- ・取扱説明書／保証書（本書） 1枚

### 各部の名称と役割



### 取り扱い上の注意

#### ■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

#### ⚠️ 危険

- 走行中に設定操作を行わないでください。**  
運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品および iPod の操作は、必ず車が停止した状態で周囲の安全を確認してから行ってください。

#### ⚠️ 警告

- 万一、異常が発生したときは...**  
本製品から異臭や煙が出たときは、ただちにシガーソケットから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。
- 修理、改造、分解しないでください。**  
火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は、弊社修理サポートセンターへご依頼ください。
- 接続に使用するコードを傷つけないでください。**  
火災や断線の原因となります。

#### ⚠️ 注意

- エンジン始動時、本製品は取り外しておいてください。**  
車種によっては、エンジン始動時に瞬間的に規定以上の電圧が供給される場合があります。故障を避けるため、本製品はエンジン始動後に接続してください。
- 水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。**  
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。
- シガーソケットの形状をご確認ください。**  
外国産車や国産車の一部には、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

#### ■その他：こんなことにも注意してください

- ・本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用した製品です。車載アンテナの種類、車内環境、走行環境、混信により、本製品から出力された FM 電波をカーステレオ側が正常に受信できない状態となることがあります。その場合、ノイズ、音のひずみ、音の途切れ、受信不能状態等が発生する場合があります。
- ・シガーライター付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配／延長ソケットをお買い求めください。
- ・本製品は 12V 専用です。24V では使用できません。
- ・本製品はマイナスアース車専用です。プラスアース車では使用できません。
- ・衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・車種によっては、キーを抜いてもシガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があります。ご使用のお車がこのタイプの場合、お車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。
- ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

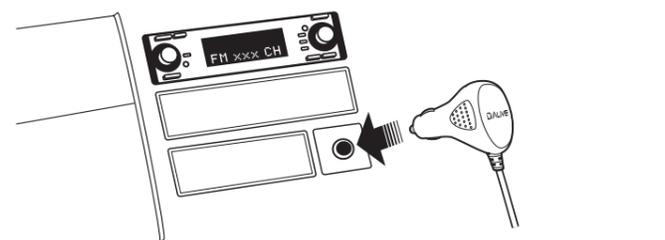
### 基本的な使いかた

#### 1 本製品と iPod を接続します。



#### 2 お車のエンジンを始動したあと、シガーソケットに本製品を接続します。

本製品は、お車のエンジンを始動したあとに接続してください。



本製品の電源が自動的に ON になり、電源ランプが青色に点灯します。

#### ■車内設置時の注意

- ・車内は高温になる場合がありますので、車内に放置しないでください。

#### ■車載用アンテナについて

本製品は、FM トランスミッター内蔵のアンテナから FM 電波を発信し、車載用アンテナで受信して、カーステレオで再生することで音楽等の視聴を行います。したがって、FM 電波受信感度やノイズの発生に関しては、車載用アンテナの構造や設置位置が大きく影響します。車載用アンテナには、大きく分けて次のタイプのアンテナがあります。

- ・ルーフアンテナ（屋根の前端か後端に設置され、樹脂コートされているタイプ）
- ・ビラーアンテナ（A ビラーに内蔵されていて、金属製アンテナを手動で引き出すタイプ）
- ・ガラスアンテナ（リアウィンドウやリアサイドウィンドウ等に貼られている、フィルム状のタイプ）
- ・ロッドアンテナ（昇降装置付きで、SUV などに多く見られるタイプ）

弊社で行った東京都心部における動作検証では、以下の順で受信状態が良いことが確認されています。

ロッドアンテナ > ビラーアンテナ > ルーフアンテナ

**注意**  
ガラスアンテナは、車のグレードによる差が大きく、比較が困難です。また、動作検証は特定の車種で行い、本製品は運転席と助手席の間に設置しています。検証結果は、すべての自動車／走行環境での受信状態を保証するものではありません。（上記は弊社調べ。自動車メーカーにより、呼称や構造は異なります）

#### 3 エンジン連動自動再生機能により、自動的に iPod の再生が開始されます。

#### 4 カーオーディオの FM 周波数を本製品の操作部ディスプレイに表示された周波数に合わせます。

本製品のご購入時の周波数は「76.0MHz」に設定されています。

#### 5 この周波数での受信状態がよくない場合は、本書裏面の「送信周波数の変更と登録」を参照して、受信状態のよい周波数で使用できるように周波数を変更してください。

#### 6 iPod で選曲などの操作を行います。

#### 7 カーオーディオの音量つまみで音量を調節します。

#### ■ iPod 接続コネクタを取り外すときのご注意

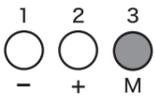
iPod 接続コネクタを取り外すときは、リリースボタンを押しながら取り外してください。

**注意**  
リリースボタンを押さずに無理に引き抜こうとすると、コネクタの破損などの故障の原因となります。

## 送信周波数の変更と登録

本製品は、送信周波数を76.0MHz～90.0MHzの間で0.1MHz単位で設定することができます。また設定した周波数は操作部のボタンに3つまで登録することができます。

1 操作部の「M」ボタンを1秒間押し続けます。

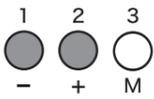


ディスプレイのバックライトが点滅します。

76.0MHz

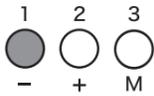
2 「-」ボタン、または「+」ボタンを押して、周波数を変更します。

- 「-」ボタンを押すと、0.1MHz単位で周波数が小さくなります。「+」ボタンを押すと、0.1MHz単位で周波数が大きくなります。



変更した周波数をボタンに登録します。ここでは「1」ボタンに登録する場合で説明します。

3 「1」ボタンを数秒間押し続けると変更した周波数が「1」ボタンに登録されます。



「1」ボタンを押すと登録した周波数が表示されます。

78.2MHz (変更例)

周波数は、「2」ボタンまたは「3」ボタンに登録することもできます。操作方法は同じです。

### 注意

手順2で周波数を変更したあとで、手順3の操作を10秒以内（バックライト点滅中）に行わないと、変更操作はキャンセルされます。

## ユーザー登録のお願い

弊社ホームページよりユーザー登録が可能ですので、ご登録いただくことをおすすめいたします。

<http://www.logitec.co.jp/>

インターネットをご利用できない方は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## 困ったときは...

●修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

●修理をご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

- ①お名前、住所、電話番号
- ②保証書に記載された機種名、シリアルNo.
- ③故障の状態、接続形態（なるべく詳しく）

●保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

### 本製品のお問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお問い合わせいたします。

#### ロジテック株式会社 テクニカルサポート（ナビダイヤル）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間：9：00～12：00、13：00～18：00

営業日：月曜日～金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX 共）、IP 電話（TEL、FAX 共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX 共）はご利用になれません。

#### 弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL. 0265-74-1423 FAX. 0265-74-1403

受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00

営業日：月曜日～金曜日

（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

※お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

### ■登録した周波数を使用するには

1 使用する周波数が登録されているボタンを押して周波数を表示します。

2 カーオーディオのFM周波数をディスプレイに表示されている周波数に合わせます。

## 保証規定

### ■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理を致します。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます、添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

### ■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。

1. 本保証書の提示をいただけない場合
2. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
4. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用手法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合

### ■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

## 製品仕様

製品名	LAT-FMi01	
対応 iPod	iPod G3以降*	iPod mini iPod nano/nano G2
変調方法	FMステレオ変調 パイロットトーン方式	
送信周波数	76.0MHz～90.0MHz（0.1MHz単位で設定可能）	
FM電波到達距離	5m（見通し）	
指向性	無指向性	
電源入力部	シガープラグ	
音声入力部	Dockコネクタ×1	
動作時環境条件	温度	0℃～50℃
	相対湿度	0%～75%（ただし結露なきこと）
入力電圧	DC+12V（シガーソケットより供給）	
消費電力（定格）	6W	
外形寸法	70（W）×30（H）×15（D）mm**	
ケーブル長	約1m	
質量	約65g	

\* iPod第3世代は、エンジン連動自動再生未対応

\*\* 突起部を除く